
世界と僕のつながりは？

隆

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界と僕のつながりは？

【Nコード】

N2810BA

【作者名】

隆

【あらすじ】

冊子に個人で載せます。

疑うことも信じることも、気持の向き方次第だ。
嘘をつく事も、真実を言う事も、人の気分次第だ。
それはとても便利で、恐ろしい事だ。

周りの人たちは僕にこう云う。

「何故、もっと他人と交わらないの？」

答えは簡単。

信じる事が出来ないからだ。

他人が今まで、僕に良い影響を与えてくれた事は、殆ど無かった。

大きな痛みを伴う出来事ばかりだった。
ボロボロになった。

そこで僕は、独りになる道を選んだ。
周りの人間を遠ざけようと必死だ。
今も、昔も。

小さい頃から、大人の汚さを見てきた。
子どもという、幼さゆえの暴力を感じてきた。

何が残ったのだろう、
なにか、良い事があったか？
僕は・・・どうすればいいんだ。

四角い箱の中で、考えるわけにもいかず、
かといって、明るい所に出るのは嫌いだ。

人が嫌いで、自分が嫌いで。

世界が嫌いで。

救いようがないとは、きつこうなった事の、代名詞なのだろう。

疑う事は、僕にとって心苦しいものだ。

しかし、どんなに信じていても他人というのは簡単に裏切る。
家族だって裏切るんだ。

そう、一歩間違えば一生を棒に振ることになる。

そんなのは、馬鹿げている。

お前らなんかに・・・

堂々巡りになるのでやめておこう。

そう言ってる僕だって、他から見れば赤の他人だ。笑ってしまうね。

繋がりというのは僕にとっては枷でしかない。

他人から見れば僕は足手まといだ。

他人は僕にとって、恐怖でしかない。

こんな人生はきつとみんな嫌だろう。

最後に

君は、たくさんの人から「死ね」と言われた事はあるだろうか。本気でね。

年齢を問わず、いい年こいた中年やら、ガキやら、同世代の奴らなんかに。

言われ続けると、結構きつかったりするもんで。

人格を破壊する特效薬だね。

あれは良くない。

やめた方がいいよ。

（後書き）

重くてごめんね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2810ba/>

世界と僕のつながりは？

2012年1月7日03時49分発行